



第1回 地域・市民 観光ゼミナール 「観光はなぜ重要なのか」

令和7年9月17日

観光商工課

観光プロジェクトマネージャー

辻本 千春



観光はなぜ重要なのか

目次

1. 観光ってなに？
2. 観光の重要性
3. 観光の歴史（ホスピタリティの歴史）
4. えびの市の観光の現状と魅力
5. まとめ

本題に入る前に・・・

簡単な自己紹介

■ 2008年12月 近畿日本ツーリスト株式会社 退社

＊ 2005年～2008年 バンコク事務所長

■ 2011年4月から大学教員 2つの大学を経て

■ 2022年3月 流通科学大学（神戸市）観光学科教授
定年退職

■ 2023年8月 えびの市企画課

■ 2024年4月 株式会社えびの

■ 2025年1月 観光商工課

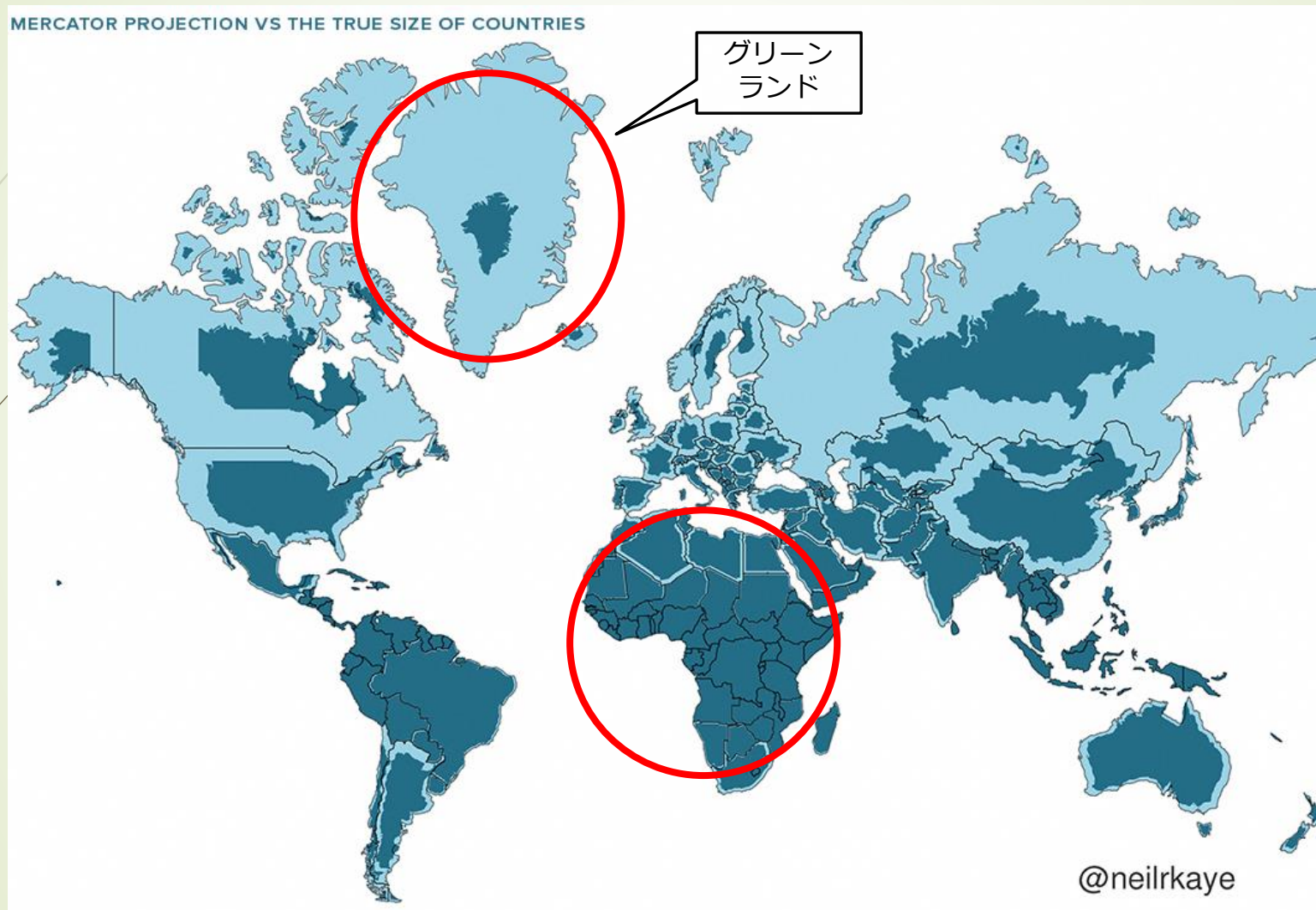
観光プロジェクトマネージャー

■ 学位 博士：創造都市（大阪市立大学（現大阪公立大学）大学院、2014年取得）

モノにはいろいろな見方がある
A.ルビンの壺



B. メルカトルの魔法



イコールアース図法

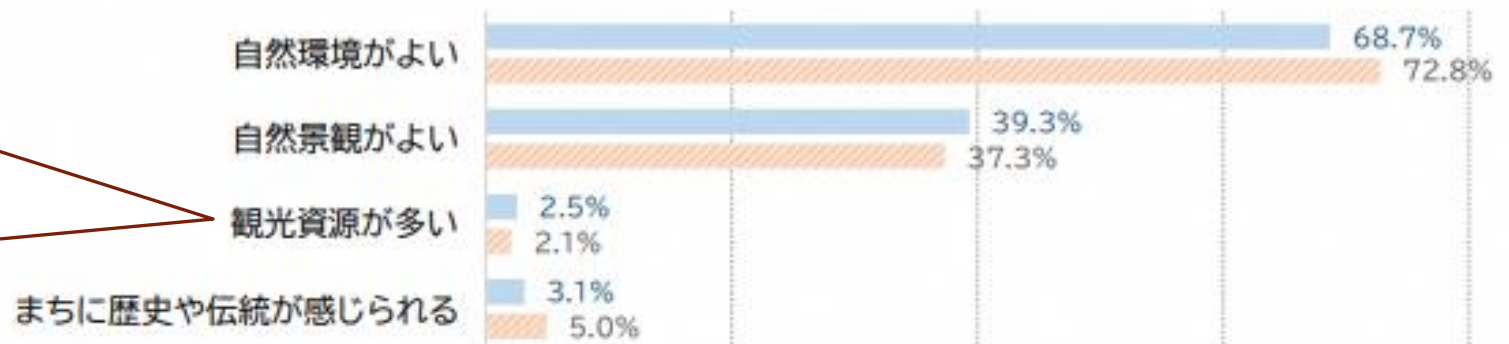


出所：令和6年度「えびの市民意識調査」
結果報告書より（抜粋）

2. まちの暮らしやすさについて

Ⅰ 問5-1 「住みよい」「まあまあ住みよい」と答えた理由として最も近いものは何ですか。
(〇は3つまで)

※ 問5で「1.住みよい」「2.まあまあ住みよい」と回答した人



観光資源が多い
= 2.5%



えびの市は観光
資源が少ない！？

■ 今回調査(上段)
■ 前回調査(下段)

3. えびの市の現状について

Ⅰ 問7 えびの市の現状についてお答えください。（1つに○）

単数回答=N 673

市の観光業は、地域の資源を十分生かしていると思いますか

はい
14.1%

いいえ
41.5%

40.3%

1. 観光ってなに？

- (1) 意味
- (2) 定義
- (3) 語源
- (4) 観光と「旅」の違い
- (5) 観光・旅行に関する言葉
- (6) 観光に含まれるもの



1. 観光ってなに？

1-1. 観光の意味

(1) 「観光」という言葉の始まり

- ・大正時代に「ツーリズム」の訳語として、「観光」を当てた。
- ・ツーリズムは、「円を描く道具」を意味するラテン語 (tornus) を語源とし、周遊を意味する (tour) に、行動、状態、主義などをあらわす接尾語 (-ism) のついた言葉である。



(2) 観光の定義

その1. 国内

・1995年6月の観光政策審議会の観光の定義

➤「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊ぶ
ということを目的とするもの」

＊「学び」の要素が明確に示されている。

その2. 世界

国連世界観光機関U N W T Oの「UNツーリズム」の定義

＊ポイントは3つ

「人がレジャー、ビジネス及びその他の目的で

①連続して1年を超えない期間

②日常生活圏を離れて旅行し

③旅行先で報酬を得ることをせずに、滞在する活動」

(3) 観光の語源

- ・観光の語源は、今から約2000年前の中国の儒教の古典とされる四書五經のひとつである「易經」。

- ・「觀国之光利用賓于王」（国の光を觀（み）るはもって王の賓（ひん）たるによろし。）

「国」とは、当時の中国の状況からみてひとつの地域を表し、「光」とは、地域の優れたものないし特色を意味するとされる。

(4) 「観光」と「旅」の違い

・旅、旅行は大きく3つに分かれる。

1) 内部的強制の旅・・・

- ・ 宗教や交易、商用（生きるため）の旅
- ・ ゲルマン民族の大移動
- ・ 江戸時代の海外からの布教活動

2) 外部的強制の旅・・・

- ・ 使役や軍隊の旅
- ・ 防人（7世紀ごろ）
- ・ 十字軍（11～13世紀ごろ）

3) 自ら好んでする旅＝観光



「旅」のイメージは・・・

観光

旅行

■ もともとの「旅」・・・行っただけ

■ 「観光」・・・必ず戻ってくる





ちなみに観光・旅行の要素は

- ・アゴ
 - ・アシ
 - ・マクラ
- +
- ・シーン
 - ・ヒト

(5) 観光・旅行に関する言葉

・ tourism . . . ラテン語の「ろくろ」からで、腕でろくろを回すためには、ピストン運動を必要とするため、**行っ
て帰るという行動**がなければ
ツーリズムが成立しない。

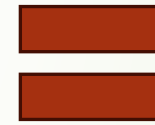
・ journey . . . フランス語
の“jour”（1日）と同じ言語
で、1日の旅行を指すとされ
る。

・ trip . . . 1泊程度の小旅
行を意味するが、最近は抽象
的にも使われる。例：イン
ナートリップ

・ travel . . . **本来は
「骨折り・労働・苦痛」
を意味する“travail”と同
じ言葉**で、昔の旅が苦痛
に満ちたものであったこ
とが分かる。

・ sightseeing . . . 一
般的な観光

(6) 観光に含まれるもの



まち・生活の
構成要素

産業として観光にかかわるもの

注：「日本標準産業分類」に「観光業」はない



2. 観光の重要性

➤ 2-1. 世界における観光の重要性



➤ 2-2. 日本で、地域でなぜ観光が重要なのか

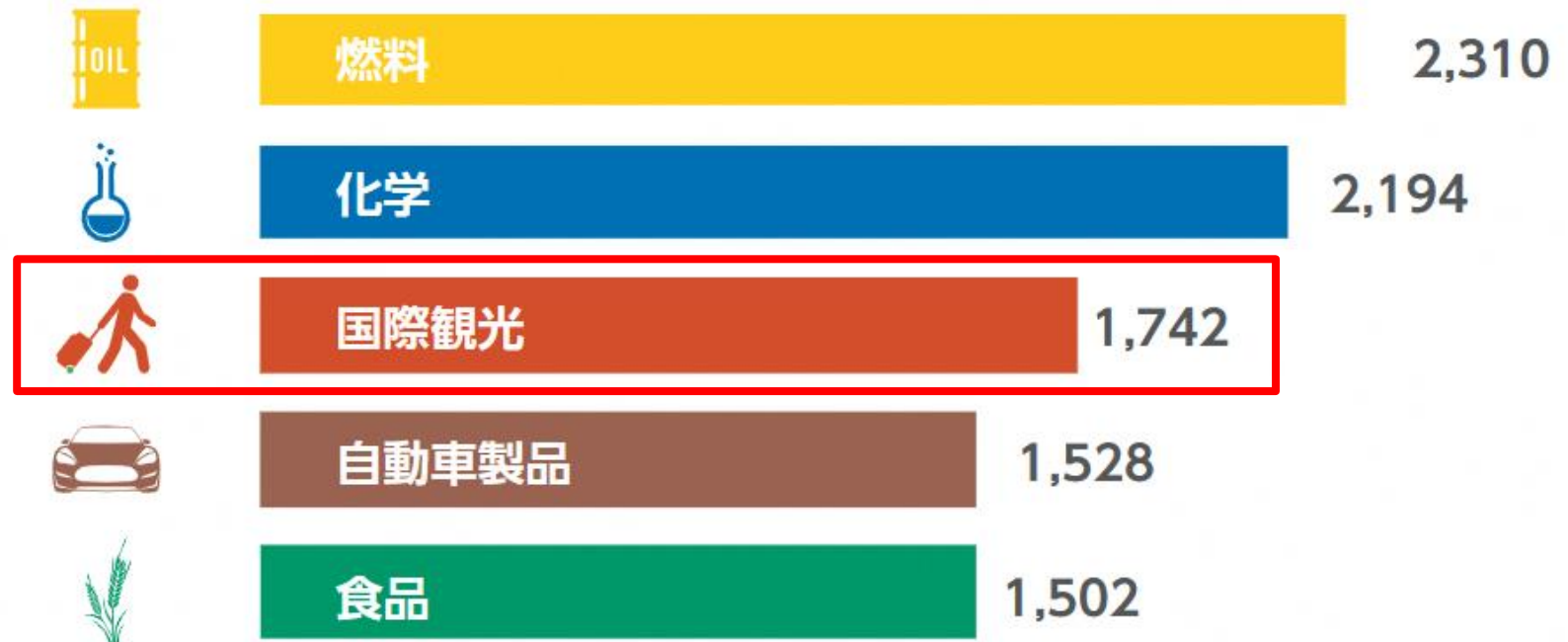


2. 観光の重要性

2-1. ①世界における観光の重要性

(注) 「世界における観光」は多くの場合「国際観光」（国境を超える観光）を意味する

観光は、燃料及び化学に続く**世界第3位の輸出分野**であり、
自動車製品及び食品を上回る。(2019年)



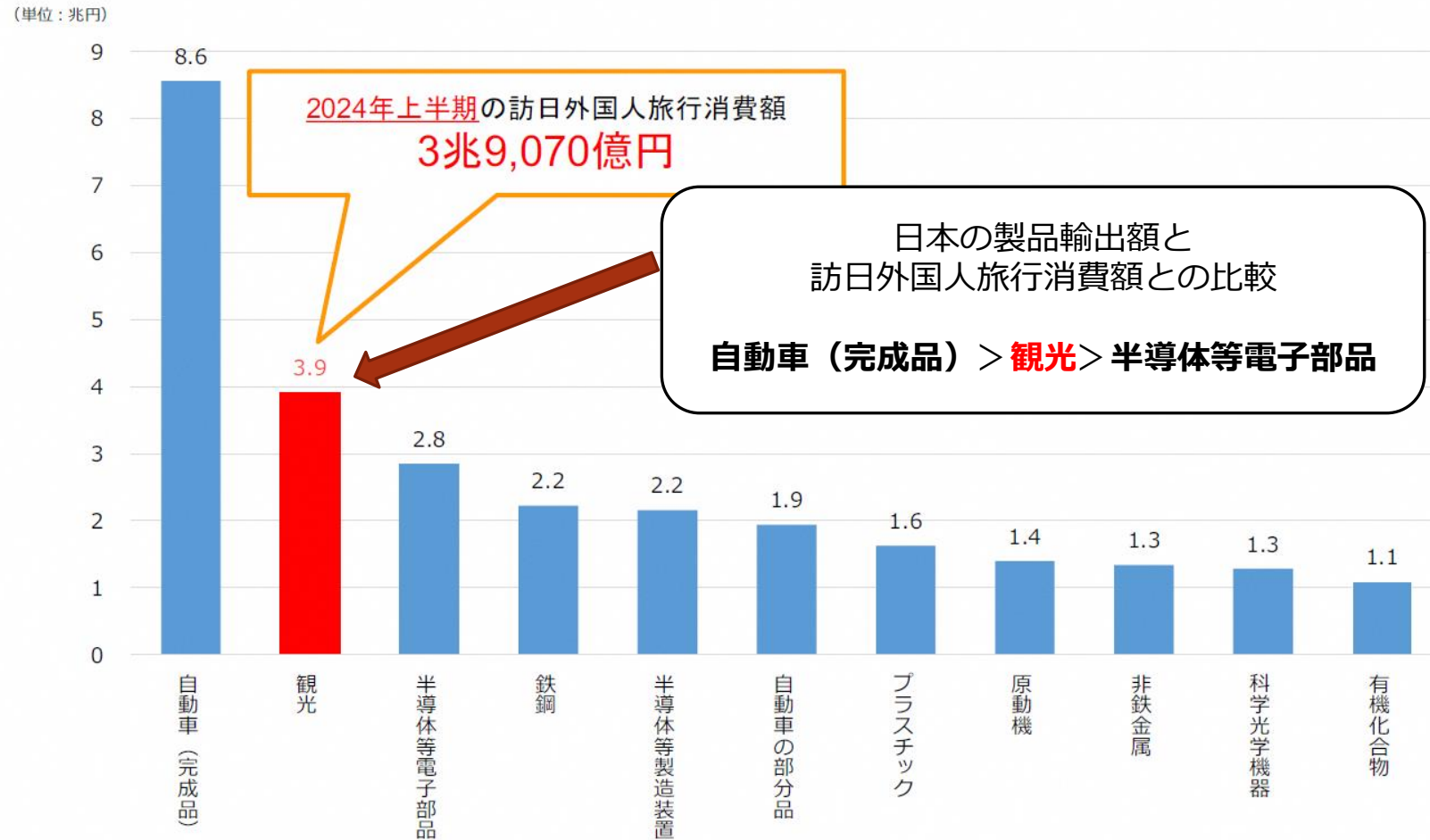
商品カテゴリー別輸出収入 2019年(10億米ドル)

出典：国連世界観光機関 (UNWTO)、世界貿易機関 (WTO)

2. 観光の重要性 （出所：観光白書2025）

2-1. ②日本における観光（国際観光）の重要性

訪日外国人旅行消費額の製品別輸出額との比較(2024年上半期)  国土交通省 観光庁



資料：観光庁「インバウンド消費動向調査（旧訪日外国人消費動向調査）」、財務省「貿易統計」に基づき観光庁作成
注：訪日外国人旅行消費額について、1-3月は2次速報値、4-6月は1次速報値

しかし・・・

日本人の国内旅行は観光（旅行）消費額のメイン（78%）
コロナ前（2019年）の旅行消費額の水準に戻った（2023年）

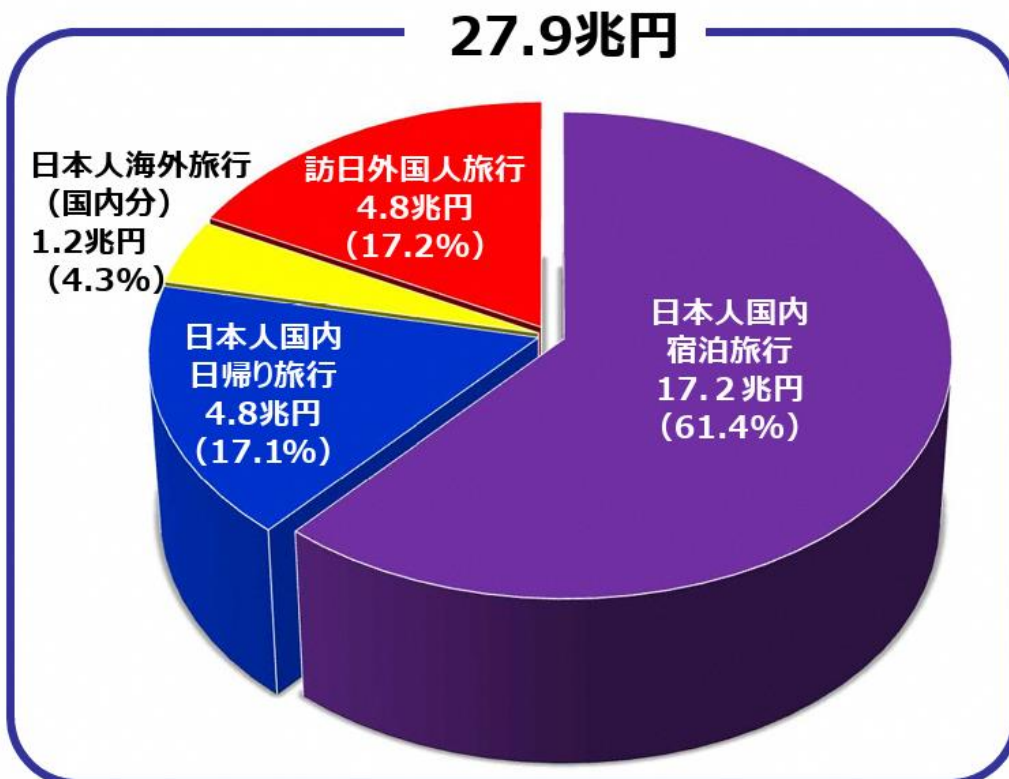
2019年コロナ前 宿泊旅行17.2兆円、日帰り4.8兆円

2023年コロナ収束後 宿泊旅行17.8兆円、日帰り4.1兆円

（出所：下記図はいずれも観光白書より）

➡ 2019年コロナ前

（図表 I -31）日本国内における旅行消費額



➡ 2023年コロナ収束後

（図表 I -18）日本国内における旅行消費額





2-2. 日本で、地域でなぜ観光が重要なのか。 ニュースで「インバウンド」が取り上げられるのはなぜか。

人口減少 ⇒ 働く人、消費する人が減少
経済活動が縮小
税金が減る
社会サービスの低下につながる



これを防ぐ方法の一つが
「観光客の誘致」

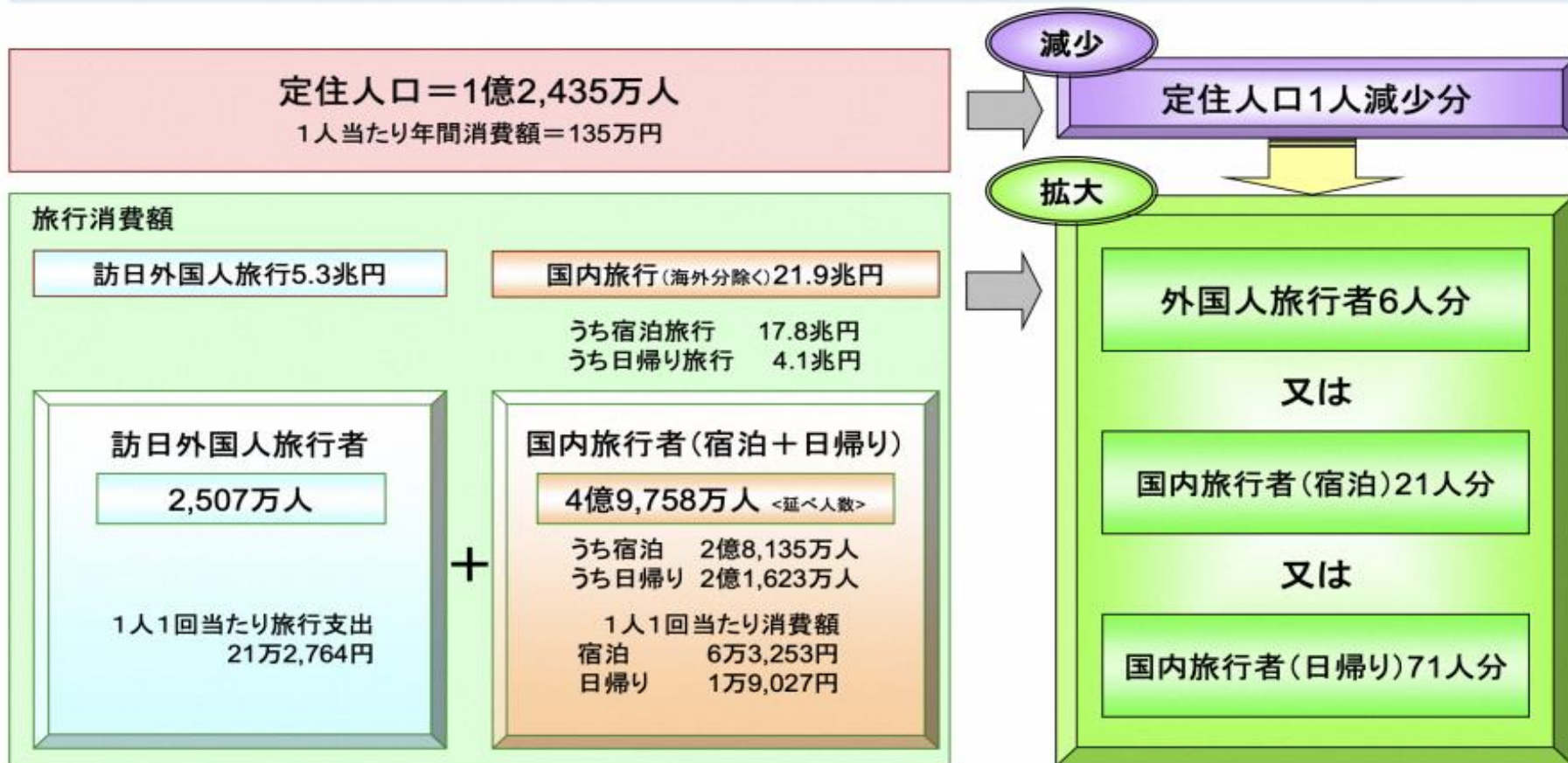
重要

定住人口一人が減少⇒その消費額をカバーするには
日帰り観光客71人、または、宿泊観光客21人、
または、外国人観光客6人でトントン

観光交流人口増大の経済効果(2023年)



- 定住人口1人当たりの年間消費額 (135万円) は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者6人分、国内旅行者(宿泊)21人分、国内旅行者(日帰り)71人分にあたる。



えびの市に当てはめると、毎年約400人の人口減少が減るため、
定住人口一人減少分の消費額@135万円をかけると
＝－（消費額@135万円×400人）
＝－消費額5億4000万円（毎年減少する消費金額）

【今日覚えること】
（注：あくまで目安）

一人人口が減少した場合、その消費金額をカバーするには

日帰り旅行者@71人

または

宿泊旅行者@21人

または

外国人旅行者@6人

が必要！！

どうやって
来てもらうかが課題。

この消費額をすべて観光（消費額）でカバーすると仮定すると

* 国内旅行者（日帰り）71人×400＝28,400人

または

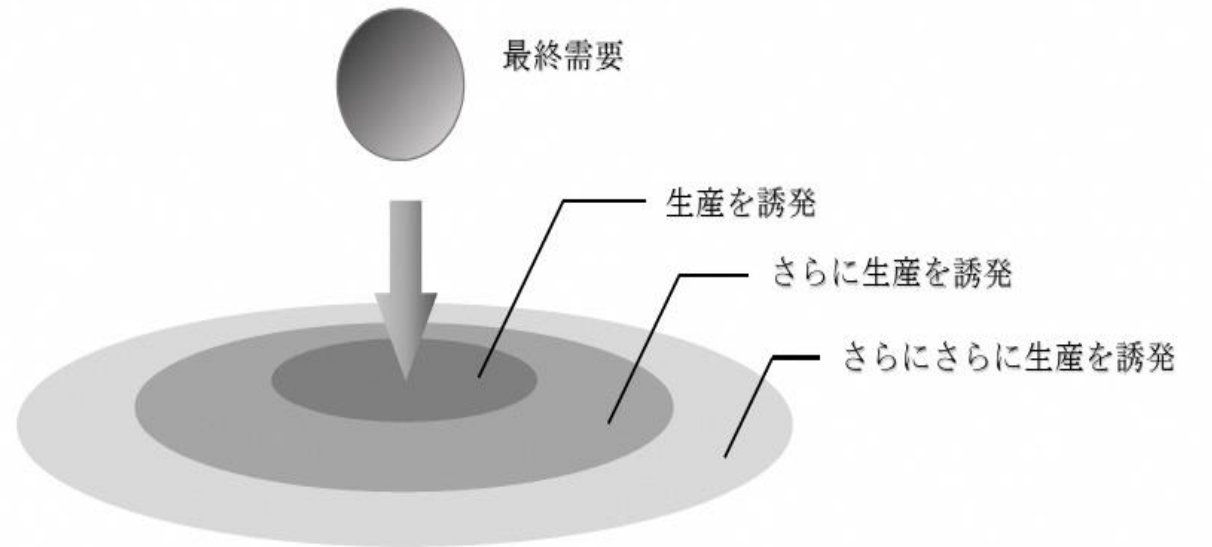
* 国内旅行者（宿泊）21人×400＝8,400人

または

* 外国人旅行者 6人×400＝2,400人

が必要となる。

地元産を使うと
大きな経済波及効果が
得られる



代金 1,000円

1. 材料すべてが市外の場合

⇒ マージン（利益）のみ

2. すべてが市内の場合

⇒ 経済波及効果大きい

米

豚肉

卵

玉ねぎ

出来上がり

材料



地元産なし

利益のみ

×

×

×

×

↓

↓

↓

↓

↓

売り上げ、
利益

市内に波及
効果なし

市内に波及
効果なし

市内に波及
効果なし

市内に波及
効果なし

すべてが
地元産

利益だけで
なく商品が
市内に波及
効果

○

○

○

○

↓

↓

↓

↓

市内に波及
効果

市内に波及
効果

市内に波及
効果

市内に波及
効果

3. 観光の歴史概観 (ヨーロッパ：ホスピタリティの歴史)

六時代区分法（出所：歴史ワールド、区分については諸説存在しますので「観光」関係するイメージととらえてください）

先史時代	古代	中世	近世	近代	現代
約700万年前	前3500年	500年	1500年	1800年	2000年
【世界】	西暦0年				
古代ギリシャ（前800頃～前400頃繁栄期）	←→				
古代ローマ（前800頃～500頃）	←→				
西ローマ帝国滅亡 476年		★ 東ローマ帝国滅亡1453年★			
キリスト教解禁（ローマ時代）	313年★				
十字軍遠征 11世紀末～13世紀末		←→			
マルコポーロ「東方見聞録」（13世紀末）		★			
コロンブス「アメリカ大陸発見」1492年		★			
イギリス「イン」が発達 8世紀ごろから		→	→		
蒸気機関車の発明（リチャード・トレビシック）1802年				★	
トーマスクック「世界1周旅行」1872年				★	
タイタニック号の沈没 1912年				★	
【日本】					
大和朝廷 3世紀後半～7世紀（七道に駅伝制）	←→				
（野宿や食料持参、僧侶による休泊や施食のための無料施設「布施屋」）					
巡礼の旅 8世紀ごろから		→	→		
熊野詣 平安時代～鎌倉時代		→	→		
伊勢参り 鎌倉時代～江戸時代		→	→	→	
江戸時代幕府直轄 五街道（宿舎：本陣、脇本陣、旅籠、木賃宿など）			←→	←→	

3-1. 先史時代（人類が文字を持つまで）～ 古代ギリシャ

1. 約700万年前～

- ・ 人類の祖先はアフリカで誕生し、世界各地へ拡散。



2. 古代ギリシャ（前12世紀～前146年）（繁栄期：前8世紀～前4世紀頃）

- ・ ポリス（都市国家）が建設された
- ・ 統一国家はなし
- ・ 共通の言語と神話、宗教を共有
- ・ 野宿、民家に一夜の宿を求めながら旅
- ・ 前500年ころから自然発生的に宿泊施設
- ・ 特権階級は行楽やレジャー
- ・ 神殿、古代オリンピック、エーゲ海での避暑、保養

3-2. 古代ローマ（前753～500頃）

（395年分裂、西ローマ帝国滅亡476年、東ローマ帝国滅亡1453年）

国の状況

- ➡ 道路網が整備され治安確保、貨幣経済
- ➡ 浴場、闘牛場
- ➡ 通商ルート上に有料の宿泊施設
- ➡ 313年キリスト教が公認
⇒ 巡礼の旅 その宿舎がホスピス(hospice)



- hospital
- hospitality
- hotel

旅の状況

- ➡ 富裕な特権階級「楽しみの旅＝観光の先駆け」
- ➡ 貴族の館でゲストをもてなす⇒客室、食事、浴室など・・・ホテルの原型
- ➡ ローマ人は地図やガイドブックを頼りに領土内の国際観光旅行
- ➡ 2～3世紀には、敷石の道路375本（最大時）簡単な舗装も含めると地球2周8万キロ（次ページの図参照）
- ➡ 誰が道路を利用したか・・・軍団（軍隊）、郵便、公務（役人）、一部市民
- ➡ 客用馬車・・・60～70kmに宿駅（マシオネスやスタディオネス）軽食レストラン（タベルナ）⇒マンションやステーションの語源

後2～3世紀のローマ帝国全図



その時代の道路図



ポンペイ遺跡









3-3. 中世・近世、近代

中世・近世

- 聖地巡礼
- 十字軍遠征
- マルコポーロ「東方見聞録」
- コロンブス「アメリカ大陸発見」
- 西ローマ帝国が滅亡（476年）⇒道路が廃れて治安悪化、600年間ぐらい暗闇
- 12～13世紀 巡礼者に提供していた修道院が増えすぎて対応できない
⇒
- 13世紀 中産階級（都市の商工業者）「中世のブルジョアジー」

近代

- 蒸気機関の発明⇒蒸気機関車
- トーマスクック「世界1周旅行」
1872年
- タイタニック号沈没 1912年



3-4. 日本史

①日本の観光前史（注：時代区分に関しては諸説あり）

大和時代（4世紀ごろ～8世紀ごろ、奈良時代（710～794）・・・道の状況

旅の始まり

- ➡ 大和朝廷・・・七道に駅伝制（駅制、伝馬制）
- ➡ 七道（東海道、東山道、北海道、山陰道、山陽道、南海道、西海道）
- ➡ 駅には人馬や食料、休憩や宿泊施設→中央からの公務出張用
- ➡ 庶民は、商いや租税を納める使役、防衛等で派遣される軍役、都の建設等の労役などで利用
- ➡ 野宿や食料持参
- ➡ 僧侶により休泊や施食のための無料施設「布施屋」

②平安～安土桃山時代

平安（794～1185）・鎌倉時代（1185～1333）

- ▶ 京都と鎌倉を結ぶ重要性
宿屋も発達、貨幣も流通

南北朝・室町（1392～1573）・安土桃山時代

- ▶ 室町・戦国時代・・・戦乱による騒乱、私関の横行
- ▶ 関銭の徴収は往来を抑制したが、宿駅は発展
- ▶ 織豊政権下・・・関所を全廃、道路・橋梁の整備、
- ▶ 一里塚

③-1. 熊野詣（平安時代～）

熊野詣

-

③-2. 伊勢参り

- 伊勢神宮は律令国家最高の国家祭祀を行う天皇家の氏神として私的な参拝は禁止→平安末期から武士や庶民も参拝ができた。
- 御師（おし、伊勢は「おんし」）と呼ぶ）の存在。社寺参拝の際、祈祷を行い、土地に不慣れな参拝客のために宿や食事も手配、各地の大きな社寺で活躍。



④江戸の旅人たち

・徳川幕府直轄の五街道・・・東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道



- 宿駅→大名・・・本陣、脇本陣
身分の低い武士や庶民・・・旅籠、木賃宿
- 徳川幕府直轄の五街道・・・東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道
- 治安の向上、経済の発展、貨幣経済が普及⇒人の往来が増え、宿場町が発展
- 往来手形
- 信仰と医療（湯治など）の旅は容認された
- 門前町も発展
- 伊勢御師・・・現在の旅行業



⑤日本の観光時代—観光の国際化と大衆化

日本小近代化と外客誘致

- 1868年 「築地ホテル館」・・・日本初の洋式ホテル
- 1871年（明治4）「岩倉具視大使節団」
- 幕末から1890年までに「お雇い外国人」3000人
- 1872年 トーマス・クック来日
- 1878年 イザベラ・バード来日「日本紀行」（1880）を著した。
- 1890年 「帝国ホテル」
- 1893年 「喜賓会」（観光振興団体）設立
- 1870年代から90年代 各地にリゾート地、避暑地、ホテル開業
- 1929年 ジャパン・ツーリスト・ビューロー

4. えびの市の観光の現状と魅力

4-1. 観光の現状（出所：えびの市2024統計で見るえびのミニガイド）

* 観 光 *

主な観光地における観光客入込数 / うち県外客数	
えびの高原	894 千人/626 千人
京町温泉	195 千人/ 58 千人
白鳥温泉	56 千人/ 31 千人
八幡丘公園	0 千人/ 0 千人
矢岳高原	28 千人/8 千人
グリーンパークえびの	60 千人/31 千人
道の駅えびの	697 千人/418 千人
京町温泉駅観光交流センター	8 千人/5 千人
アウトドアステーション	11 千人/7 千人
計	1,948 千人/1,184 千人
公園数	
国立・国定公園	1 カ所
県立自然公園	1 カ所
市立公園	2 カ所

4-2. えびの市の魅力

- ・豊かな自然・観光資源
- ・えびの高原
- ・矢岳高原
- ・景色
- ・温泉
- ・霧島連山

- ・米
- ・水
- ・肉
- ・おいしい食べ物

そして

- ・人

➡ <https://www.youtube.com/watch?v=SH2L2tROD6o>



5. まとめ

- ➡ 「観光」は「交流人口・関係人口」増やす手段です。
- ➡ 「経済効果」だけではなく、「定住人口」が増えればまちの活性化につながります。
- ➡ 「観光」は旅行だけではなく、考え方です。
- ➡ 「観光」は「輝いているさま」をみせることなのです。
- ➡ 「観光」は「人」がポイントです。「観光客」も「受入れ側・住民」も。



自然が豊かで、食べ物がおいしい！！
都会に住んでいる人からみると憧れです。

ぜひ、いままで以上におもてなしの気持ち
で観光客を受け入れてください。

住み続けたいえびの市の発展につながります。